

12 デング熱 蚊が媒介する感染症

1 病原体名

デングウイルス

2 年齢層

全年齢層が感染の対象となります。特に小児の重症化率が高いとされています。

3 潜伏期間

3～7日（最短2日、最長14日）

4 症状

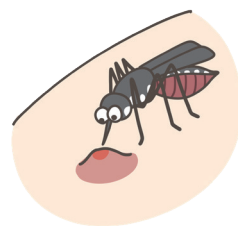
- ☑ 急な発熱（38～40度）で発症し、頭痛、眼窩痛（目^{がんか}の奥の痛み）、関節痛・筋肉痛、発しん、吐き気、おう吐などの症状が現れます。
- ☑ 重症になると出血傾向や血圧低下などが見られます。
- ☑ 症状が悪化した場合、すぐに受診しましょう。
- ☑ 十分な休養と水分補給が必要です。

5 診断と治療

- ☑ 海外渡航の有無や、蚊に刺されたかなどを問診します。

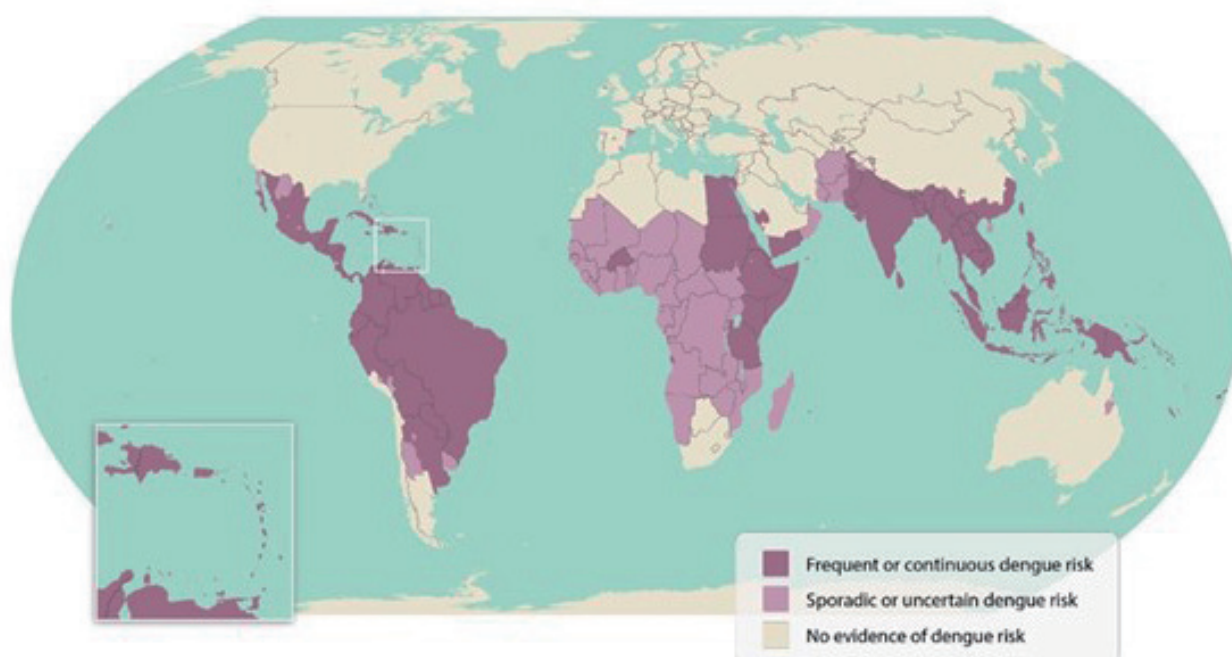
- ✓ 特別な治療法はなく、対症療法を行います。
- ✓ 解熱鎮痛薬はアセトアミノフェンを使用します。

6 家庭に持ち込まないために



- ✓ 国内で利用できるワクチンはありません。
- ✓ ウイルスを持つヤブ蚊に刺されると感染します。
2014年に海外渡航歴のない方の感染例も報告されました。
- ✓ デング熱は東南アジア、南アジア、アフリカ、中南米、カリブ諸島のほか、世界各地で流行しています。
- ✓ 流行地域では、長袖・長ズボンを着て虫除け剤を使うなど、蚊に刺されない工夫をしましょう。

デング熱流行地域



(出典 [厚生労働省検疫所 FORTH HP](#))